



# 人と人 街と街を 結ぶ

毎日の暮らしとともに  
長崎バスグループ



長崎バスグループ  
CSRレポート2016  
NAGASAKI BUS GROUP  
CSR REPORT

 長崎バスグループ  
長崎自動車株式会社

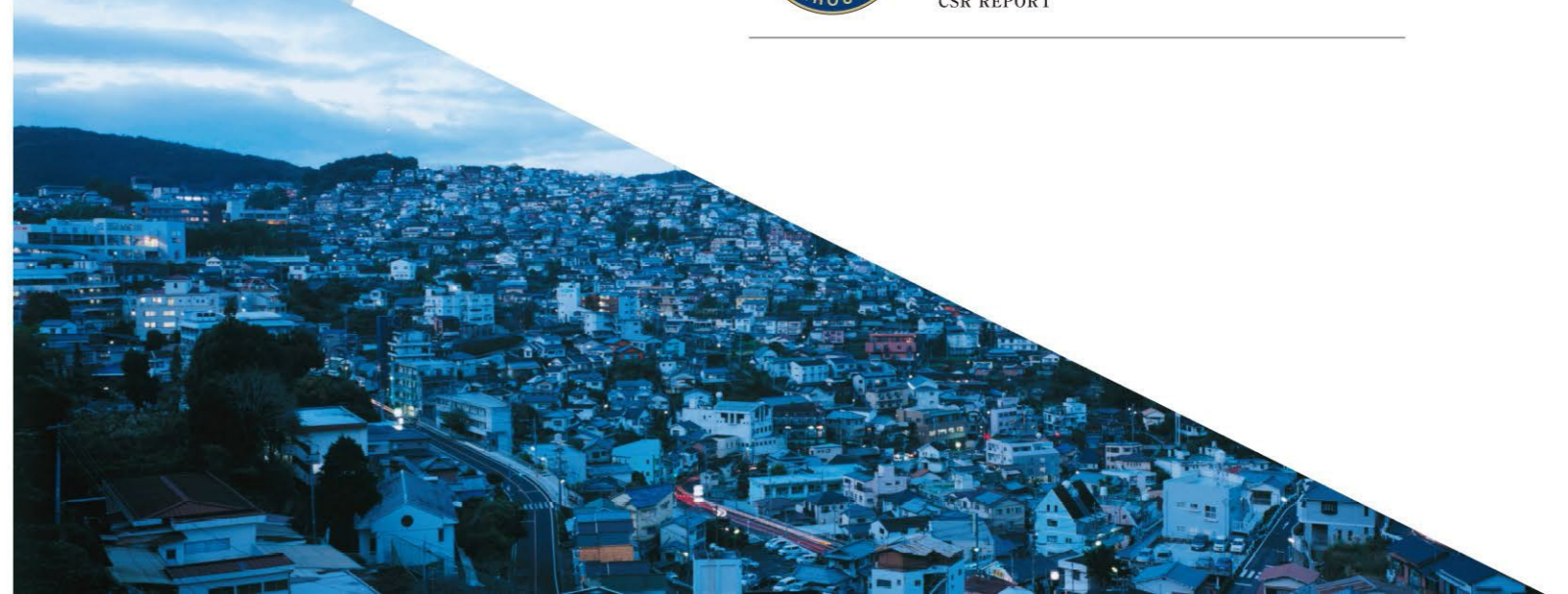


長崎バスグループ  
CSRレポート2016

長崎バス安全教育センターCSR推進課  
〒850-0077 長崎市小瀬戸町809-17

長崎バスグループポータルサイト  
<http://www.nagasaki-bus.co.jp>

2017年3月発行





## 創立80周年、 100年企業への階きざし

1936年(昭和11年)創立の当社は、平成28年創立80周年を迎えることができました。これも偏に、バスをご利用のお客様並びにお取引先の企業様、ひいては、地域社会の皆様からの長きにわたるご支援ご愛顧の賜物と衷心より感謝申し上げます。

この年月は、先人達が幾多の苦難を乗り越え、築きあげてきた歴史であり、公共交通機関としての役割や使命を全うすることで長崎の地にしっかりと根ざし、足跡を刻んできた証となります。

歴史を引き継ぐ立場となる私達にとりまして、創立80周年は新たなスタートの年があります。100年企業に向けた歩みを着実に進めるためには、あすの長崎バスグループを担い、多様化する社会の動きにも適応できる優れた人材の育成が必要不可欠です。安全教育センターの活用など、ハード・ソフトの両面から取り組みをより一層強化し、地域の皆様に求められる優秀な人材を育成してまいりたいと考えます。

企業の社会的責任(CSR)が問われる事案が社会を席卷した平成28年、当社を取り巻く環境が年々厳しさを増す中、長崎バスグループがなすべき事は正しいCSRの実現に他なりません。CSRの構成要素は、「安全安心」「顧客満足」「環境保全」「社会貢献」「情報公開」「社員満足」「リスクマネジメント」「コンプライアンス」と多岐にわたります。公明正大な経営こそが社会が求めるCSRといえます。

平成28年の長崎バスグループの様々な取り組みは、このCSRの実現という基盤の上に成り立つものであり、継続発展こそが、新たな未来への一歩となります。

人と人、街と街を結ぶ企業として、これまでも、また、これからもひたむきに、CSR活動の更なる拡がりを目指してまいります。

CSRとは「Corporate Social Responsibility」の略で、「企業の社会的責任」という意味です。企業の不祥事が多発する中、企業が顧客、地域社会、株主、従業員、地球環境等、周囲を取り巻く利害関係者(ステークホルダー)とどう向き合っていくのか、ということが課題となっています。

### 長崎バスグループの使命

人と人、街と街を結ぶ企業として、  
長崎の暮らしを支え、社会の繁栄に貢献する。

### 経営理念

安全と安心 安全をすべてに優先し、信頼される企業をめざします。

感謝のこころ お客様の目線に立ち、おもてなしの心でサービスを提供します。

仕事への誇り 働く喜びを実感できる、活力ある企業風土を大切にします。

地域とともに 長崎のみらいを創造し、地域とともに歩みます。



## 長崎バス再生に向けて

### アルコール 検知測定の身代わり

#### 発生と対策

平成28年7月19日、弊社バス運転者が、乗務前のアルコール検知測定の際、身代わり行為を行うという違反行為が発生いたしました。

本事案を受け、調査した結果、2件(7月19日発生を含む)のアルコール検知測定的身代わり行為と12件の実施漏れについても確認いたしました。

お客様の安全安心を最優先に考え行動しなければならない公共交通事業者として、決してあってはならない不祥事並びに事案であり、このような、お客様の信頼を裏切る行為を惹起いたしましたことを、弊社は真摯に受け止め深く反省しております。

長崎バスを、日々ご利用いただいております、お客様、地域の皆様、並びにすべての関係者の皆様に対し、心より深くお詫び申し上げます。

改善策を確実に実行し、皆様の信頼を取り戻せるよう、全社一丸となって誠心誠意、精進してまいります。

#### 内部統制室の分離・独立

これまで安全教育センターにあった内部統制担当を分離独立させ、内部統制室を創設しました。コンプライアンスの推進強化、コーポレートガバナンス体制の確立、内部通報制度の充実に向け取り組みを強化してまいります。

#### コンプライアンスビデオ教材の作成

アルコール不正検測事案を受け、今一度全社員がコンプライアンスについての認識を深めるため、身近に潜むコンプライアンス事案をもとに、全10編にまとめました。コンプライアンス違反事例を通して、適正な判断を学べるように長崎バスの生きた実践事例をベースに作成しています。全営業所で撮影を行ったことで、より身近に感じられる長崎バスオリジナル教材ビデオです。

ビデオを通して一人ひとりがコンプライアンスを再認識するのはもちろんのこと、各職場での研修資料としても活用してまいります。

# 安全・安心

Safety and Security

## 運行管理者研修

運行管理者の役割と責任や業務の理解浸透を目的に研修を実施しています。

厳正な点呼に対する取り組み状況や問題点を共有しながら、運行管理者としてのスキル向上を図っています。



運行管理者研修

## ドライブレコーダー設置完了

平成28年11月、長崎自動車株式会社の全車両、並びにグループ会社の車両にもドライブレコーダーが設置されました。事故原因の分析、今後の事故防止に役立てるとともに、運転者への指導・教育にも活用しています。

長崎自動車	578台	全車設置完了(マイクロ含む)
さいかい交通	29台	全車設置完了
バス観光	50台	全車設置完了

## 積雪対応

平成28年1月24日・25日、長崎は記録的な大雪に見舞われました。観測史上最多の積雪により、多くの交通機関に影響が出ました。24日は長崎バスも終日運休を余儀なくされ、市民生活に大きな混乱をもたらしました。大幅な遅れや運休せざるを得ない事態となる中、社員一丸となって、利用者の足の確保に努めました。



記録的な大雪

## 九州運輸局 交通バリアフリー部門関係表彰

九州運輸局が所轄する交通機関のバリアフリー普及と促進につなげるため、平成16年から毎年行われている「九州運輸局交通バリアフリー部門関係表彰」。平成27年度の受賞企業として長崎自動車株式会社が選ばれました。今回の表彰は、高齢者や障害者等の移動の利便性向上を図るため、ノンステップバスの導入やバスターミナルの整備に取り組んでいることが評価されたものです。平成12年よりスローバスの導入を開始し、現在では全車両の内、約半分となる278台がバリアフリー対応車になっています。



賞状を受け取る嶋崎社長

## 長崎バス観光株式会社 リフト車導入

長崎バス観光株式会社では、ご高齢のお客様やお身体に障害をお持ちのお客様にも、安心してバスの旅を楽しんでいただくために、車椅子をご利用のままバスにご乗車いただけるリフト付きの大型貸切バス1両を導入しました。車両中央に設けられた扉を開けると昇降機(リフト)が現れ、車椅子のままバスに乗降できます。このバリアフリー貸切バス導入は、長崎県内初。車両の導入にあわせて、お客様のお手伝いをさせていただく運転者及び事務所スタッフ4名が『移動介護従事者』の資格を取得しました。



# 環境活動

Ecology

## ハイブリッドバス導入

ハイブリッド性能を有した、日野自動車株式会社製「新型日野ブルーリボン」を2台導入しました。モーターとAMTが一体化したことにより、優れた動力性能を実現。最も燃料が必要な発進時にモーターをメインに使用することで、最大20%の燃費向上が期待できます。さらには、環境負担軽減などの効果が期待できる他、モーター走行により通常のバスに比べ静かな走りを実現します。

また、ホイールベースを延長してノンステップエリアを拡大するとともに、新型客席シートの採用などによりお客様の利便性、快適性を向上させています。さらに設置の簡単な車椅子用スロープや車椅子固定装置を採用し、車椅子をご利用のお客様にも優しいバスとなっています。

## 従業員個人表彰式

毎年7月に従業員個人表彰式を行っています。平成28年は、優良従業員、永年勤続、精勤、運転無事故、エコ運動、功労と各分野にわたって、延べ759名が受賞しました。

エコ運動表彰とは、年間の燃料節約目標を100%達成し、勤務態度が良好な者が受賞します。また、エコ運動特別功労表彰は、10年連続目標を達成している者に贈られます。平成28年は、エコ運動表彰受賞者414名、エコ運動特別功労者21名が受賞しました。これからも、一人ひとりが燃料節約意識をもって、エコ運転に取り組んでまいります。

従業員個人表彰式



HYBRID BUS



ハイブリッドバスお披露目式

# 長崎の暮らしを支え、 社会の繁栄に貢献する 長崎バスグループ

幾多の苦難を乗り越え80年の歴史を築いてきた先人達。  
100年企業を目指す私達の新たな道のりは、  
まだ始まったばかりです。  
これからも愛するふるさと「長崎」のさらなる発展を願い  
正直に、ひたむきに日々を積み重ね、  
お客様、地域の皆様の信頼と期待に応えてまいります。



人と人  
街と街を  
結ぶ

NAGASAKI BUS GROUP



# 地域社会

CommunityCommunity

## バスの乗り方教室を開催

長崎バスオリジナル絵本「ながさきバスうんでんしゅさんのいちにち」が完成し、長崎市、時津町、長与町、西海市の全小学校95校へ計4,550冊を寄贈しました。

長崎自動車株式会社が企画し、長崎バス情報サービス株式会社が制作した絵本は、長崎バスの運転者の一日の仕事が分かりやすく描かれており、乗車時の注意点なども一緒に学ぶことができます。絵本の完成に伴い、保育園や小学校で絵本の読み聞かせやバスの乗り方教室を開催しました。



長崎バスオリジナル絵本  
「ながさきバスうんでんしゅさんのいちにち」

## 多彩な活動支援

文化・芸術活動等を通して地域の活動を支援するメセナ活動。当社では昭和61年4月にこのような支援活動を恒常化させるため、「財団法人長崎バス観光開発振興基金」を設立し、その運用益をもって、長崎県内の観光・文化・スポーツ・教育等の活動に助成してきました。平成28年度は、「長崎ランタンフェスティバル」への協賛など、計13団体の助成を行いました。



長崎ランタンフェスティバル



## 赤い花の記憶 公演再び

平成27年、大好評のうちに幕を閉じた市民ミュージカル「赤い花の記憶 天主堂物語」。再演を望む多くの声にお応えし、再びブリックホールの舞台に大輪の赤い椿の花が咲き誇りました。平成28年7月30日、31日に上演されたミュージカルは応募者60名が出演。長崎バスグループからも5名が出演しました。また、劇中音楽は長崎バスが活動のサポートを行っている、長崎唯一のプロオーケストラ「OMURA室内合奏団」が生演奏。長崎バスグループでは昨年に引き続き特別協賛を行い、県内92社の企業の皆様からもご協賛いただきました。

## 「小さな親切」運動 モーターサービス部が受賞

環境美化、人命救助、防犯活動など、個人のささやかな行為を社会慣行にするための「小さな親切」運動。本表彰は、長崎市内の企業や病院などでつくる「小さな親切」運動長崎協議会が主催するもので、自治体などから推薦を受けた個人や団体を毎年表彰しています。平成28年度の小さな親切実行者表彰において、地域の環境美化の貢献から、長崎バスモーターサービス部も受賞しました。これからも地域の一員として“出来ること”に取り組んでまいります。

# 日蘭交流

The Japan-Netherlands Society of Nagasaki

## 長崎・オランダJAZZコンサート

長崎とオランダの間には400年に渡る交流の歴史があります。近年両国の間には、未来に向けた新しい交流の輪が広まりつつあります。平成27年に開催し、多くの賞賛をいただいた「Dutch Jazz in Nagasaki 2015」。平成28年も、現代のオランダに対する理解を深め関心を高めることを目的として、世界の第一線で活躍するオランダのミュージシャンを招き、コンサートを開催しました。

シーボルト没後150年忌法要

## シーボルト没後150年忌法要

シーボルトが亡くなって150年目の命日にあたる平成28年10月18日、「シーボルト150年忌法要」が長崎市寺町の皓台寺にて執り行われました。当日はドイツ在住のシーボルトのご子孫をはじめ、関係者、研究者など多数参加。法要後は、妻タキと娘イネの墓参りも行い、シーボルトの功績を偲ぶ1日となりました。

## 出島建物6棟復元記念式典

長崎市が復元を進める国指定史跡「出島和蘭(オランダ)商館跡」で江戸時代の鎖国期の建物6棟が新たに復元され、平成28年10月19日、完成記念式典が執り行われました。出島への出入りを監視するための詰め所など、出島の中央部分に位置していた建物が復元されました。



Dutch Jazz in Nagasaki 2016

出島6棟復元





# 『名もなき一日を走る』 広告賞受賞

## ACC CMフェスティバル ゴールド賞 受賞

日本最大級の広告賞である、「ACC CM FESTIVAL」にて、長崎自動車株式会社が創立80周年を記念して制作したCM(オープニング編/神の島のひとびと編/南越のふたり編)が、フィルム・テレビCM部門の準グランプリに当たるゴールド賞を受賞しました。応募総数1,409本、全国規模の企業CMが名を連ねる中、県内のみで放送されている「長崎バスCM」がこのような栄誉に輝いたのは、役所広司監督をはじめ制作に携わった方々のプロ意識の賜物に他なりません。ご協力いただいた皆様に、改めて御礼申し上げます。



授賞の様子



オープニング編

神の島のひとびと編

南越のふたり編

※ACC CM FESTIVALは、1961年よりテレビ・ラジオCMを対象にした広告賞として開催されている。名実ともに、日本最大級の広告賞として広く認知されており、ACCグランプリ(総理大臣賞)は広告関係者の大きな目標となっている。

## 第55回福岡広告協会賞 受賞

「第55回福岡広告協会賞」にてCMが大賞、ポスターが「ポスターB全以上部門」金賞をそれぞれ受賞しました。本賞は九州各県及び山口・沖縄県で発表された広告を対象としたもので、九州では他に類がない広告賞として知られています。



長崎バス安全教育センター内には、受賞したトロフィーやポスター、役所広司さんがCMで実際に使用した制服等を展示しています。

長崎バスポスター、CMはこちら

<http://www.nagasaki-bus.co.jp/recruit/businfo/lp/>

ACC CM  
FESTIVAL  
トロフィー



# 長崎バスグループ連携

中期経営計画においては、平成28年から2nd step(2016~2018年)がスタートしました。理想を実現するための実践期間としてすでに様々な取り組みが行われています。

中期経営計画の主要課題の一つにあげられているグループ連携。長崎バスグループ各社の横軸となる「長崎バスグループ連携会議」を中心に、各社間の交流促進や情報交換、相互の営業協力につながる具体策を展開し、グループ総合力の強化を図っています。

## 営業協力 長崎バスグループ紹介のパンフレットを作成

長崎バスグループの多岐に渡るサービスや各社の取り組み、イベント等の情報について、分かりやすく掲載。長崎バスグループ全体に関心を持っていただいた方々が、各社のサービスを利用することで、従業員とご家族の皆さまがグループの一員であることのメリットを実感していただくと共に、相互利用の拡大につなげることを目的に作成しました。



パンフレット

## 交流促進 長崎バスグループ合同研修会の開催 (安全運転講習会・ハラスメント研修会)

人材交流を目的として各社共通のテーマによる研修を開催。研修では、グループ討議を多く取り入れることで活発な意見交換を行っています。受講者は、交流を通して多くの気づきを得、グループ連携を意識する良い機会となっています。

「安全と安心」を経営理念とする長崎バスグループにとって、交通事故の根絶はバス事業に限ったことではありません。業務や日常生活で自動車を使用する際も安全運転を心がけ、交通事故防止に努める必要があります。長崎バス安全教育センターでは、グループ各社の一般ドライバーを対象に「安全運転講習会」を開催し、安全意識と運転技術の向上を図りました。



安全運転講習会の様子

## 情報共有 長崎バスグループ ポータルサイトの開設

グループ間の連携強化、さらには、お客様への情報提供の充実を目的として、長崎バスグループ各社のホームページへの入口となるポータルサイトをリニューアルし「Kataru net(カタルネット)」として再開設しました。

長崎バスグループ各社の最新情報はもちろんのこと、長崎のイベント情報や人気のお店、グルメ情報など旬な話題を発信。たくさんの写真も掲載され、見る人の“目を引き興味を惹く”ウェブサイトです。



Kataru netのトップページ

## 長崎バスグループ

長崎自動車株式会社

長崎バス観光株式会社

さいかい交通株式会社

長崎バス商事株式会社

長崎バス建物総合管理株式会社

長崎バス情報サービス株式会社

ホテル日航ハウステンボス

国民宿舎 青雲荘

長崎バスターミナルホテル

みらい長崎ココウォーク

株式会社COCOアドバンス

五島自動車株式会社



創立80周年を記念して「オリジナル サウンドバス」を製作発売しました。